

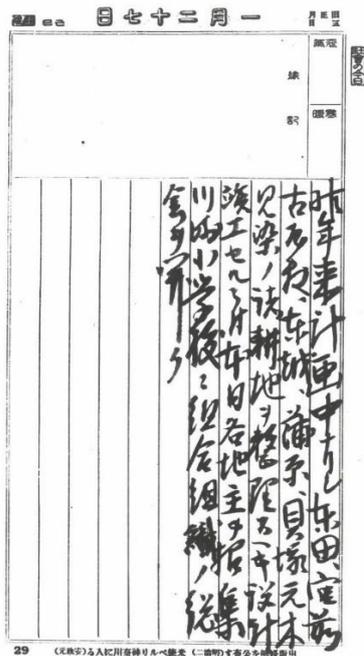
【資料紹介】石井泰助と有吉忠一と浅野総一郎

今回紹介するのは川崎市公文書館が複製古文書として所蔵している「石井泰助日記（大正六年）」（整理番号：60-63-3）という資料です。『川崎市史』編さんに際して収集された初代川崎市長である石井泰助の日記が複製として現在でも川崎市公文書館に保存されています。石井泰助日記は明治44年・明治45年（大正元年）・大正6年・大正8年・大正14年の5冊が伝わっています。今回取り上げるのは、大正6年（1917）分の日記です。

大正6年（1917）は、第一次世界大戦の只中であり、この年にはロシア革命も勃発して世界中が動乱期にありました。そんな中、前年まで川崎町長を務めていた石井泰助は川崎町の耕地整理や上水道を敷設するために動き回っていました。「石井泰助日記（大正六年）」大正6年1月27日条には次のように記されています。

【大正6年1月27日条】

昨年来計画ナリシ東田、宮前
古屋敷、東越、蒲原、貝塚、元木
見染ノ諸耕地ヲ整理スヘキ設計
竣工セルニ付本日各地主ヲ招集
川崎小学校ニ組合組織ノ総
会ヲ開ク

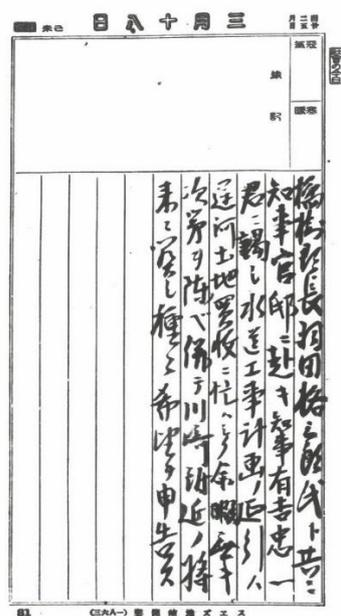


1月27日条には、川崎町の耕地整理がいよいよ竣工するに伴い、各地主を川崎小学校に招集して総会を開いたことが記されています。

3月18日、石井は橘樹郡長羽田格三郎と共に神奈川県知事官邸に赴いて有吉忠一会談することになります。

【大正6年3月18日条】

橘樹郡長羽田格三郎氏ト共ニ
知事官邸ニ赴キ知事有吉忠一
君ニ謁シ水道工事計画ノ延引ハ
運河土地買収ニ忙ハシク余暇無キ
次第ヲ陳ベ併テ川崎附近ノ将
来ニ関シ種々希望ヲ申告ス

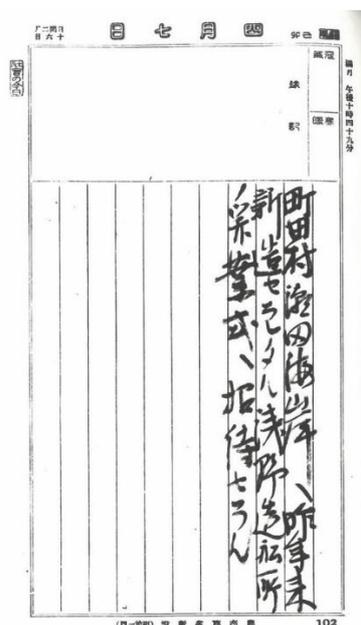


石井は有吉に川崎町の水道（上水道）工事が延引しているのは運河・土地買収の交渉に手をとられているためであることを述べたようです。そして、川崎付近の将来に関して様々に希望を伝えたそうです。石井は川崎の将来像を如何に考えていたのでしょうか。印象的な記述です。

4月7日、耕地整理や上水道の敷設を進めていた石井は新しく造成された浅野造船所の開業式に招待されます。

【大正6年4月7日】

町田村潮田海岸へ昨年来
新造セラレタル浅野造船所
ノ開業式へ招待セラル



石井泰助と浅野財閥の総帥である浅野総一郎との個人的関係や面識の有無はこれまであまり言及されてこなかった事柄だと思われます。しかし、大正6年の石井日記には、浅野造船所の開業式に石井が出席したことが記録されており、ここから石井と浅野のつながりも確かに見受けられます。川崎近辺の工業都市化を担った石井と浅野が果たした役割の大きさは言を俟たないですが、二人のつながりをはっきりと示すうえでも石井日記は貴重な事柄を多く伝えてくれます。

このように、石井泰助が神奈川県知事有吉忠一や浅野総一郎などの重要人物たちと交流していたことが日記からわかります。こうした交流は川崎の発展にも少なからず影響していったと言えるかもしれません。

今回紹介した資料は2024年2月17日（土）に川崎市公文書館にて開催した古文書講座（特別編）「明治・大正時代の歴史資料を読む」でテキストに取り上げました。講座当日は、石井泰助と有吉忠一の会談やアミガサ事件・有吉堤などの解説を行い、受講者の皆様からも活発な議論が行われました。今回紹介した資料以外にも川崎市公文書館には沢山の複製古文書を所蔵しておりますので、ぜひご利用ください。

<資料情報>

「石井泰助日記（大正六年）」（整理番号：60-63-3）

※閲覧・複写の際には利用申請書・複写申請書を記入頂きます。

[川崎市：歴史的公文書等の情報提供 \(city.kawasaki.jp\)](http://city.kawasaki.jp)